



静岡大学ゆかりの会 メールマガジン

～静大ではたらく人々～

【静大ではたらく人々】「広報・基金課基金係・松本晃輔さん」（前編）



毎月だいたい1回、静岡時代編集部がさまざまな企画をお届けしております。
今回は静岡大学で職員として働く人たちのお仕事について伺うインタビュー「静大ではたらく人々」の第一弾をお届けします（次回とあわせ前編・後編でお届けします）。

今回取材したのは、みなさんが今まさに読んでくださっているこのメールマガジン「ゆかりの会」の担当者である、広報・基金課基金係係長の松本晃輔さん。静大職員になった経緯から、現在の仕事内容、広報・基金課って何をしている部署なのか、などなど伺いました！

——静岡大学の職員になろうと思ったきっかけを教えてください。

（松本さん）もともと私自身も大学にいる先生方のように研究者の道を歩みたいと考えていたのですが、修士1年の時に、それは難しいかもしれないなと思い始めました。それでもやっぱり大学という場所が好きだから、研究者以外で大学に残れる方法はないかと考えるようになりました。そのときに、大学の先輩が大学職員になったことを思い出したんです。それが大学職員として働くことを選ぶきっかけでしたね。

自分自身が研究の最前線に行けなくても、違う面からサポートをすることができるし、学生さんとも関わる点、そしてなにより大学での教育に関われることが魅力だなと感じていました。

——現在は広報・基金課の基金係を担当されているとのことですが、ここでは具体的にどんな仕事をされていますか。

（松本さん）静岡大学には「静岡大学未来創成基金」という基金があり、その基金の管理と、皆さんに寄付をしていただけるよう広報活動などを行っています。また、寄付していただいたお金を活用した事業の統括も行っています。

私自身は基金を担当していますが、広報の要素も大切にしています。

このゆかりの会が具体例ですが、静岡大学と繋がっている方々に対して大学の情報を提供することはもちろん、案外大学内にいても知らないことって多いと思うので、学生さんや先生方、職員にも情報提供していけたらという狙いもあります。

基金の活用例ですが、広報・基金課で学生さんのための事業をしたいという想いから、

「100円朝食プロジェクト」を2024年のゴールデンウィーク明けに行いました。これは2023年1月に行った「100円夕食プロジェクト」の第二弾です。5月に行った朝食プロジェクトは、特に新1年生だと一人暮らしを始めて生活リズムが整っていない時期だと思ったので、朝ご飯を食べてから勉強するというリズムづくりをサポートしたいという意図で夕食ではなく朝食に切り替えて実施しました。

他にも経済的事情がある学生さんに対する海外短期留学費用の支援制度や学術研究や課外活動等において特に顕著な業績を挙げた方に授与される学長表彰の副賞、ウクライナ協定校学生の受け入れ支援といった大学内で行われる様々な事業の支援を行っています。

また「特定基金」といって目的や使用用途も明らかにして寄付を募っているものもあります。最近ですと「附属浜松小中学校施設環境整備事業」として、寄付者の皆さまにご支援いただき、浜松にある教育学部附属小中学校の新校舎の給食室の費用に充てることができました。



——松本さんがこれから広報・基金課として力を入れていきたいと考えていることはありますか。

現在の「広報・基金課」が立ち上がったのが2022年の4月で、実は私は最初のメンバーの一人なんです。今まで手探りでやってきましたが、少し整理をしながら、静岡大学を応援してくれる方が増えるように様々なことに挑戦していきたいです。また、寄付となると、OB・OGの方々のご協力が不可欠になってくるので、同窓会などとのより良い協力関係も築いていければと考えています。

職員自体が大学のことを知らない、伝えることもできないと思いますので、もっと学内のことも知っていききたいですね。

あと、未来創成基金では毎年活動報告書を作成しているので、こちらもぜひより多くの方に見て頂ければと思っています。

////////////////////////////////////

<松本晃輔さん>

静岡大学総務部 広報・基金課基金係 係長。静岡県磐田市出身。大学時代は言語学、特に認知言語学について専攻していた。現在は広報・基金課の基金係で静岡大学未来創成基金の管理や広報、事業企画などを行っている。この静岡大学ゆかりの会（メールマガジン）の担当者であり、静岡時代編集部の企画の相談や取材でも大変お世話になっている。静大の魅力を広く伝えるべく日々奮闘中。



静岡大学未来創成基金ウェブサイトはこちら

ー リンク一覧 ー



◇お問い合わせ

静岡大学 広報・基金課 基金係

TEL:054-238-5183

Email:yukarinokai@adb.shizuoka.ac.jp

※本メールマガジンが無断転載することは禁止されております。

※メールマガジン ニュース・イベント投稿フォームは [こちら](#)から

※メールマガジンの配信停止（ゆかりの会の退会）は [こちら](#)から